

社 会

(地理的分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	地理 002-72	A B 294	令和 6 年
17	教育出版	教 出◆	地理 017-72	A B 310	
46	帝国書院	帝 国◆	地理 046-72	A B 310	
116	日本文教出版	日 文◆	地理 116-72	A B 318	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 社会(地理的分野)(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東書	教出	帝国	日文
内容	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①実際に経験したり調べたりするなど、聴覚障害を補う学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	17箇所 ①「防災・減災に向けた取り組みと課題」では、地域のハザードマップから、予測される自然災害や避難場所を調べる活動がある。(P168) ②該当なし	9箇所 ①「地域をながめて」では、身近な地域を、高いところから見たり地上で観察したりして、調査テーマを見付ける活動がある。(P132-133) ②「さまざまな言語と人々の暮らし」では、手話に関する記述がある。(P39)	16箇所 ①「地形図の使い方②～「地理院地図」～」では、ウェブサイトを活用して、自分が通う学校の周りを地図や空中写真で調べる活動がある。(P132) ②該当なし	13箇所 ①「『気候推理ゲーム』をしよう」では、国や地域を考えるヒントとなる植物や食べ物、家屋などの写真を集め、推理ゲームを作る活動がある。(P43) ②該当なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声情報を必要とする見学等の活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。	2箇所 ①「地域のこれからを提案し、発信しよう」では、動画に音声をつける活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P279)	2箇所 ①「地域の防災について調べる」では、聞き取り調査の方法として、地域の関係部署などに聞き取りを行う活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P140)	2箇所 ①「野外調査を実行しよう」では、野外調査で地域の人への聞き取り調査を行う活動が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P137)	2箇所 ①「構想した内容を発信しよう」では、発表会を音声で記録し、発表会を振り返る方法が示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P292)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①「世界に見られるさまざまな気候」では、五つの気候帯の特色について、地図や気温・降水量のグラフ、写真で示している。(P48-49) ②章末や節末にある「まとめの活動」では、探究課題が簡潔な文で記しており、枠囲みで用語の理解を確認する「ワードチェック」がある。(P266など)	①「四季のある気候」では、瀬戸内海地方の冬と夏の季節風を、地形の断面図で示している。(P155) ②章末や節末にある「学習のまとめと表現」では、学習テーマが枠囲みで記しており、用語の理解を確認する「ワードチェック」がある。(P124-125など)	①第3部第3章「日本の諸地域」では、各節の扉ページに、学習する地域の特色を、地図と特産物、名所などのイラストで示している。(P167など) ②各項目の冒頭では、「学習課題」に背景色を付けて簡潔に示している。(P48など)	①各章や各節の冒頭では、学習内容を写真や図表で示している。(P266-267など) ②各項目の冒頭では、「学習課題」や、学習したことを確かめる「確認」「表現」に、背景色を付けて示している。(P6-7など)
参考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	なし	なし	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	あり	なし	なし

発行者		東書	教出	帝国	日文
内容	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①学校内や学校周辺で、身近に体験できる学習活動が示されているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	11箇所 ①「地形図を読み取ろう」では、異なる時期に作られた地形図を比較し、土地利用の変化を調べる活動を示している。(P149) ②「世界や日本と結び付く東京」では、パラリンピックに関する記述がある。(P237)	9箇所 ①「災害から身を守るために」では、身近な地域のハザードマップを入手し、地域ではどのような災害が予測されているか確かめる活動を示している。(P159) ②該当なし	14箇所 ①「私たちの住む地球を眺めて」では、タブレット端末を活用し、デジタル地球儀で地球を見る活動を示している。(P2) ②該当なし	11箇所 ①「主な国々の名前と位置をとらえよう(2)」では、オリジナルの国名しりとりを作成する活動を示している。(P9) ②該当なし
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①補助用具や補助的手段を活用しても、見学や体験的な活動に困難が想定されるもの。	5箇所 ①「1編2章の学習をまとめよう」では、「スキル・アップ」のコーナーで、ノートに略地図を描く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P32)	5箇所 ①「地域の防災について調べる」では、実際に地域の堤防や堰などに行き、水害対策の状況を調べる活動例が示されており、取り扱う際に配慮が必要である。(P140-141)	6箇所 ①「グラフのつくり方」では、統計資料から折れ線グラフや帯グラフを描く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P43)	4箇所 ①「地球儀と世界地図から世界をとらえよう」では、地図帳の上にトレーシングペーパーを重ねて略地図を描く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P13)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①章末や節末の「まとめの活動」では、学習を振り返るための穴埋め形式の問いや図絵等を示している。(P74-75) ②各章の冒頭では、学習する地域に関連する写真や資料等を示している。(P60-61など)	①章末や節末の「学習のまとめと表現」では、学習に関連した地図や穴埋め形式の問いを示している。(P76-77など) ②「宇宙からとらえた日本列島」では、折り込みで、宇宙から撮影した日本列島の写真を示している。(P128-129)	①章末や節末の「学習を振り返ろう」では、学習に関連した「問い」や「重要語句」を枠囲みで示している。(P89など) ②第2章及び第3章では、学習する地域や地方ごとに、自然や文化の特徴が分かる写真を見開きで示している。(P168-169など)	①章末や節末の「まとめとふり返し」では、学習の振り返りとして、穴埋め形式の文を示している。(P60など) ②「世界各地の人々の生活と環境」では、写真から地域の特色を読み取るためのポイントを吹き出しを付けて示している。(P26)
参考	我が国の位置と領土の扱い	あり	あり	あり	あり
	国旗・国歌の扱い	あり	あり	あり	あり
	北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	脱炭素化に関する扱い	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり	あり
	障害者理解に関する扱い	なし	なし	なし	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり
	固定的な性別役割分担意識に関する扱い	なし	あり	なし	なし